

Together



<http://www.shukutoku.ac.jp>

No. **213** | 2016. 10. 1
Autumn

特集 2

フィールドワークと実習紹介

学長メッセージ

現場に「いる」ということ

ともいきのころ

社会の人々がなにを求めているか？ 現場で学び行動してきた学祖。

淑徳人

独立行政法人 国立病院機構 千葉東病院 勤務
川口 涼子さん

知識モリモリ × 健康モリモリ

痩せるサプリメントってあるの？！
健康寿命を延ばすために偏食に
注意して適度な運動を心がけましょう

NEWS CLIP

淑徳大学フェア in 新潟

Cover Person

小田 融さん(観光経営学科2年)

現場に「いる」ということ

淑徳大学 学長
あだち あきら
足立 叡



本学の各学部・学科では、それぞれの分野の狙いに合わせた実習・フィールドワークを積極的に展開しています。社会福祉の単科大学として誕生した本学は、社会の中で人と関わりながら学ぶ「実学」を教育の理念に据えてきました。その意味で、今日の大学教育で期待されている学びを開学当初から実践してきたのです。こうした実学的学びは福祉分野に限らず、いまや社会・人文科学系をはじめとするすべての分野で必要とされています。

障がい児医学がご専門で、「国立 秩父学園」の園長を務められた岡田喜篤先生は、福祉学・教育学・看護学は、「人間が人間に対してある一定行為を為す」ということを前提にして生まれ、発達してきた学問である」と述べています。従って、その教育や学びは、実習抜きには成り立たないということです。ちなみに「臨床」という言葉は、中世ヨーロッパでは、「重い病に冒された人の傍らでひたすら共にいること」を意味していました。実学は、「現実学」とも言えますが、「現実」という言葉には2つの捉え方があります。観察や調査によってわかる事実(=reality)と、対象との生きた関係において存在する現実(=actuality)です。臨床や、実習・フィールドワークで学ぶべきことは後者であることは明らかです。

現場にただ行って来た、つまり現場に存在として「ある」だけでは不十分です。例えばデータや情報を得てきたとしても、それは調査や見学です。他者と関わりをもって初めて自分がそこに「いる」こととなります。主体的に働きかけ、関わり、経験し、自分について新たな気づきを得て、成長に至るのが実りある学問「実学」なのです。

誰かのために行動して、自分が必要とされていることに気づく。それによって、感恩奉仕の精神、自分は生かされてその命を誰かのためにお返ししなければいけないという自覚が生まれてきます。キャンパスの座学ではこの経験は限りがあります。それは実習やフィールドワークという、行動しなければならない環境にあってこそできる学びです。

他者と関わるためには、垣根をつくるのではなく、恥づかしがらず、惜しみなく、素直に心を開くことです。もし失敗したとしても、若いうちなら許されると私は思います。

SAITAMA

女子柔道部 井上 舞子さん(2年) 全日本ジュニア柔道 体重別選手権大会 3位

9月10日および11日、埼玉県立武道館にて行われた平成28年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会において、78kg超級に出場した井上舞子さん(経営学部経営学科2年)が見事3位となりました。

井上さんは2015年ポーランドジュニア国際大会、2016年ロシアジュニア国際大会で優勝し、今大会を第一シード選手として迎えました。初戦から危なげなく、準決勝まで勝ち上がりました。準決勝でも先にペースを掴み、リードしましたが、終了間際に逆転負け。勝負の厳しさを痛感する結果となりました。その後、3位決定戦では気持ちを切り替え、最後まで戦い抜くことができました。

今後は全日本学生柔道体重別選手権、講道館杯全日本柔道体重別選手権とレベルの高い大会が続きます。今回の結果を糧として、さらに上を目指します。

今後ともご声援のほど、よろしくお願いいたします。



表紙の人 Cover Person

おだ とおる
小田 融 さん / 経営学部 観光経営学科 2年

地元長野を離れて一人暮らしをしながら大学に通っています。講義で扱ったことが私生活で生きてくることも多く、様々なことに興味を湧いてきます。

その他、アドミッションスタッフと軟式野球部にも所属しており、他学部や先輩、後輩との繋がりも出来てとても充実した大学生活を日々楽しんでいます。



オープンキャンパスは、毎回大変ですが、学ぶことが多くとてもやりがいがあります。

CHIBA CHIBA2 SAITAMA TOKYO



東北師範大学人文学院がある
長春市

8月8日、東北師範大学人文学院との友好交流総括協定調印のため、長谷川理事長、磯岡副学長以下、6名の教職員が中国吉林省長春市内にある同学院を訪問しました。

東北師範大学人文学院は、2004年に中国教育部(日本の文部科学省)より認可を受けた私立大学で、11の学部1万人を超える学生が在籍しています。その中で、約1,800名の学生が学ぶ福祉関連2学部(社会福祉学院と健康福祉学院※中国は学部を学院と表記)は、中国国内の福祉ニーズ拡大に併せ、現在も学部の拡充を計画中のこと。中国国内でも最新鋭の施設設備を有しているが、

日本の高齢者施設での実習教育も行っています。高齢者への思いやり、責任感、サービス能力の向上等を学び、日本で研修を高く評価しています。

調印式後の会談では、あらためて両大学の紹介と今回の友好協定により相互が期待する事項について、確認がなされました。

中国国内における福祉専門人材養成のパイオニアを目指す同学院が「福祉の淑徳」に期待することは、教員や学生の相互交流や共同研究プロジェクトの

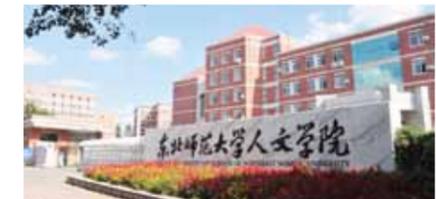


中国東北師範大学人文学院にて調印式

中国東北師範大学人文学院と 友好校協定を締結

開発、学術シンポジウムの定期開催、更には中国における福祉サービス基準策定への協力等、多岐にわたります。

今後、これらの交流を具体的に推し進めることで、淑徳大学の国際化は新たな展開を迎えることとなります。



東北師範大学人文学院



東北師範大学人文学院 学生食堂

TOKYO

JFN学生ラジオCMコンテスト2016 人文学部 表現学科の中里 玲奈さん(3年)が 最優秀賞を受賞!

全国FM放送協議会(JFN)主催「JFNラジオCMコンテスト2016」において、人文学部 表現学科3年の中里玲奈さんが最優秀賞を受賞しました。中里さんの作品は、応募総数1962件の中から最優秀賞に選ばれ、7月21日TOKYO FMホールで授賞式が執り行われました。

このコンテストは、本学人文学部表現学科での学びをキャッチコピーとともに紹介するもの。中里さんがナレーションとともに、全体の構成、脚本、演出のすべてをこなし、ラジオに登場する店員の声も表現学科の学生が担当しました。

気になる作品の内容は、日常生活でつつい適当になってしまう日本語の使い方や話し方に、警鐘をならすというもの。コンビニという身近な生活

の場を設定し、来店した客に対して「らっしゃいやせ〜(いらっしゃいませ)」「あじゃ〜した〜(ありがとうございました)」と接客する店員の様子を表現。これをうけて、中里さんの「命のかよった言葉を使おう」というナレーションで締めくくっています。

審査員をつとめた箭内道彦氏(クリエイティブディレクター)は、「淑徳大学の作品の『命の通った言葉を使おう』のコピーには、ハッとさせられた。正しい日本語を使おうという事と似ているが、実は違うのではないかなと思わせたCM」と総評。表現学科で日々学んでいる「言葉の的確さ」が端的に表現されているとの評価をいただきました。



最優秀賞 授賞式時の中里さん

中里さんは、「表現者は聞いてくれる、伝える相手がいるからこそ成立します。相手にきちんと伝えるには、正しい日本語ではなく、命の通った日本語なのです。心と心で話す そんな表現力をここ、表現学科では学んでいます」と感想を述べていました。

なお、このCMは、8月1日より1ヵ月間、JFN系列の38局全国で毎日放送されました。

淑徳大学フェア in新潟

淑徳大学創立50周年記念事業のひとつとして、7月30日(土)新潟県にある
朱鷺メッセにて「淑徳大学フェア」が開催され、300名を超える方々にご参加いただきました。

特集



第一部

「学生気質 今昔物語」

●トークイベント 北野大教授・松永二三男教授



田中副学長による挨拶

「大学フェア in 新潟」のオープニングを飾ったのが、「学生気質 今昔物語」。本学人文学部の北野大先生と松永二三男先生によるトークイベントです。お二人の生い立ちから本学で教鞭を執ることになった経緯、昔の学生と今の学生の比較等、話は大いに盛り上がりました。

話題がトークイベントのメインテーマである「学生気質」に移ると、先生方から現代を生きる学生に対して厳しいご指摘が。「生まれた時から、すべての物が揃っている世代は、世の中を渡っていくという姿勢に欠ける」「現在の学生は優しいが、それだけではうまくいかないこと

もある」「先生方の世代の学生は、一本筋の通った『思い』があり」「その思いが『自立』や世界に出ていく『自信』に繋がっていった」とのこと。学祖の長谷川良信先生も、昭和初期（昭和5（1930）年）にイギリスやフランス、ドイツなどを見聞したとの経験談に触れ、現代の学生に向けて「時代や世代を超えて自身を律する気概を持った学生生活を送って欲しい」との力強いメッセージをいただきました。

質疑応答では、キャンパスでの学生との語らいやコミュニケーションの様子、講義の内容についての質問が寄せられ、来場された方々に応じられました。

出張オープンキャンパスin新潟

●保護者懇談会 ●大学創立50周年記念式典のDVD上映&在学生による大道芸パフォーマンス ●進学相談会 ●職業人インタビュー

第二部

第二部は会場を移し、3つのイベントが行われました。保護者懇談会では新潟在住の在校生の保護者の皆様にお越しいただき、教員と保護者が個別に懇談しました。また、進学相談会と併せて、「職業人インタビュー」と題し各分野で活躍する方々から直接仕事の内容などが聞け



る機会を設け、新潟県内、近隣の高校生、保護者の皆様にご参加いただきました。更に、別室にて2015年の大学創立50周年記念式典の様子を収めたDVDが上映され、在学生による大道芸パフォーマンスも披露されました。

第三部

懇親会

●鏡開き ●分水太鼓
●「おろしぼんづ」による大道芸パフォーマンス



懇親会では、分水太鼓のパフォーマンスと、
本学卒業生「おろしぼんづ」による大道芸が披露されました

会場を隣接ホテルに移し、懇親会が開催されました。理事長からの開会の挨拶に続いて鏡開きが行われ、和気藹藹とした空気のなか旧交を温めることができました。

SHUKUTOKU 50th ANNIVERSARY

淑徳大学
創立50周年記念事業一覧

- ◆平成27年9月26日
淑徳大学創立50周年記念
法要・式典・祝賀会
- ◆50年史刊行
- ◆淑徳大学50年のあゆみ展
- ◆モニュメントの造立
- ◆記念出版物の刊行
- ◆学会の大会等の誘致
- ◆国際学術フォーラムの開催
- ◆東日本大震災復興関連事業
- ◆淑徳フェア
- ◆同窓会とのタイアップ事業
- ◆50周年募金活動

淑徳大学フェアin新潟をもって、全ての記念事業が終了となります。ご協力いただいた皆様へ、この場をお借りして御礼申し上げます。

予告 次回は平成31年に、茨城県にて開催予定です。

フィールドワークと

実習紹介

- 千葉キャンパス
 - 総合福祉学部
 - コミュニティ政策学部
- 千葉第2キャンパス
 - 看護栄養学部
- 埼玉キャンパス
 - 経営学部
 - 教育学部
- 東京キャンパス
 - 人文学部

淑徳大学は、設立当初より「実学教育＝実践を通して学ぶ学問」を理念に据え、それぞれの分野で実施し続けてきました。今回は各キャンパスのフィールドワークや実習の取り組みを一部紹介します。

コミュニティ政策学部

フィールドワーク名
コミュニティ研究Ⅰ
(石川・日野・斉藤・松野) クラス



場所 千葉県松戸市・常盤平団地
参加人数 27名(1年)＋教員3名
内容 常盤平団地で行われる行事の会場設営や事業進行の手伝いなどで参加し、住民との交流を図り、コミュニティや『孤独死ゼロ』活動などについて学びます。
目的 団地自治会と淑徳大学は相互協力の『包括協定』を結んでおり、コミュニティ政策を学ぶ場として団地を訪れ、サービ斯拉ーニングを行います。

参加学生 VOICE

- 高齢化している団地だが、お年寄りがとても元気でした。
- 団地の自治会がしっかりしている感じがします。特に女性が頑張っていました。
- 団地が古くて外国人も多く、若い人が少ないので将来の日本の姿が見える気がします。
- 昼食の弁当を運び席に案内したら、年齢を尋ねられました。「孫と同じ」と言われ、会話が弾みとても喜んでくださいました。
- 朝早く大変でしたが、楽しく参加できました。特に「大抽選会」はみんなが盛り上がり面白かったです。
- 健康の話は自分でも参考になりました。学童クラブのアトラクションや地元の歌手なども出演し、多くの参加者や関係者がいることに驚きました。
- フラサークルのフラダンスに参加しました。はじめは少し恥ずかしかったのですが、面白かったです。団地の人たちもとても喜んでいました。



コミュニティ政策学部

フィールドワーク名
ケーススタディ
(鏡3年生ゼミ)



場所 墨田区京島・向島地区の木造住宅密集地域
参加人数 鏡ゼミケーススタディ3年生 14名
内容 墨田区木造住宅密集地区再開発視察
目的 墨田区の建築基準法や都市計画法など時代の移り変わりによって変化し続けている「まちづくり」の研究

参加学生 VOICE

家と家の間隔がとても近く火災のリスクを感じましたが、地域の方々の防災意識の高さに加え、区としても、防災訓練の実施や、マンホールトイレや防災収納ベンチを設置しています。地域と住民の信頼関係によって、緊急時に助け合える仕組みを整備していることが分かりました。道路が狭い等の不便もあるが、年配の方が多いため建て替えるのは金銭的に難しく、まちづくりの難しさを感じました。(コミュニティ政策学科3年 鈴木凌、山田哲平)

コミュニティ政策学部

フィールドワーク名
ケーススタディⅠA
(青柳3年生ゼミ)



場所 千葉市緑区鎌取コミュニティセンター
参加人数 ゼミ学生11名(スタッフ＋来場者＝500名)
内容 子どもが仮想の「まち」をつくり、職業を体験するイベント「こどものまち」を地域の人たちと協力して開催しました。
目的 地域の小学生や大人たちとイベント準備を行うなかで、課題解決の手法を体験的に学ぶことが目的です。

参加学生 VOICE

毎月1回、千葉市緑区の住民有志と屋外型多世代交流の場「おゆみ野café」を企画運営する一方、約半年間、「こどものまち」の準備をしました。この地域では初の「こどものまち」だったので、分からないことや上手いかないこともたくさんありました。でも、そうした課題にスタッフになった子ども・学生・おとなが1つになって取り組みました。「初めて」だからこそその経験ができたと思います。(コミュニティ政策学科4年 中畑友社)

看護栄養学部

実習名
公衆衛生看護展開実習

看護学科4年次生の保健師課程選択者は、9月から10月にかけて、公衆衛生看護展開実習に取り組んでいます。3年次の基礎実習に続く、発展的実習として、健康教育(小集団支援)や家庭訪問(個別支援)、地区組織活動(健康推進員育成)等に参加し、実践的に学んでいます。今回は、学生が取り組んだ健康教育についてご紹介します。

場所 松戸市
参加人数 母子およびボランティア含め19名
内容 子育てサロンにおける健康教育
目的 子どもの事故予防



参加学生 VOICE

大学での講義ではわからなかったことも、実際に住民と触れあうことを通して、実感として学ぶことができました。また、参加者の反応から、自分達がテーマとして実施した健康教育が、タイムリーな内容であり、重要な内容であったことがわかりました。そして、保健師活動への理解が深まりました。(看護学科4年 河嶋美樹、宮澤紗瑛)

場所 いすみ市
参加人数 35名程度(2回実施)
内容 胃がん検診会場における健康教育
目的 糖尿病を予防しよう!



参加学生 VOICE

事前学習の中で地域のデータを分析し、健康課題を把握し、そこに住民の声を反映させることを通してニーズの明確化を図り、根拠に基づいた健康教育を行うことができました。胃がん検診会場での健康教育だったので、参加者は健康意識の高い人でした。しかしながら、地域の健康度を高めるためには、未受診の方々にもっと検診を受けてもらう必要があり、予防活動の大切さを実感しました。(看護学科4年 白聖亜、山岸悠花)

総合福祉学部

フィールドワーク名
相談援助実習Ⅰ(1年生)



場所 社会福祉法人淑徳福祉会 特別養護老人ホーム淑徳共生苑
参加人数 155名(平成27年度実績)
内容 導入実習2日間、基礎実習6日間の合計8日間(60時間)の期間で各グループに分かれて実習を行います。
目的 実際に利用者や対象者とかかわり、専門職として求められる価値観・倫理・知識・技術の基礎を習得する、3年次での実習へ繋がります。

参加学生 VOICE

- はじめての実習で緊張しました。
- 実習記録を書くことが難しかったです。
- グループにわかれて利用者の方と、手遊びやボール投げゲームなど色々な遊びを楽しく関わることができました。
- 利用者の方に名前を覚えてもらって頂いたことが嬉しかったです。



総合福祉学部

フィールドワーク名
保育実習Ⅱ
(4年生)



場所 私立保育所(平成28年度 実績30施設)
参加人数 43名(平成28年度実績)
内容 5月上旬から12日間の実習を各私立保育園にて行います。

ちば！教職たまごプロジェクト

場所 千葉県内の小・中学校、特別支援学校
参加人数 118名(平成27年度実績)
目的 教師を目指す学生たちが教育現場で、子どもたちとの活動や学校運営に触れて、教職への理解を深めます。

参加学生 VOICE

肢体不自由児の特別支援学校に参加しました。そこで精一杯元気に遅く生きている子ども達の姿は私の人生に大きな影響を与えてくれました。先輩たちの指導のおかげで、たまご実習先であった特別支援学校で新任教員として、この春から働いています。(教育福祉学科 平成28年3月卒 桑田準平)



授業以外で学部全体で学生が関わっているフィールドワーク

ドリームナイト・アット・ザ・ズー

場所 千葉市動物公園
参加人数 学生60名＋教職員2名
目的 千葉市動物公園の休園日に障がいのある子供達とその家族を招待するイベントに参加し、支援や指導の基礎を学びます。

参加学生 VOICE

私は小動物との触れ合いコーナーを担当しました。障がいのある子供達の様々な表情を感じながら、支援の基本などを学び、命の大切さを子供も私たちも感じる事ができた1日でした。(教育福祉学科3年 太田萌絵)

目的 保育所の生活に参加し、実習することを通して子どもへの理解を深め、保育所の機能と保育士の職務について学びます。

参加学生 VOICE

- 3年生の実習とは違って4年生の実習では責任実習があり、緊張感もある中、保育士として一歩近づけました。
- 国家資格としての重みを感じる実習でした。
- 3年生で公立保育園、4年生で私立保育園と経験することで、園の方針の違いを勉強することができました。
- 保育士として働きたいです。(保育実習生複数名より)

教育学部

フィールドワーク名
教育研究訪問
(高橋敏ゼミ3年生)



場所 秋田県東成瀬村立東成瀬小学校

参加人数 14名

内容 学校行事「パークゴルフ大会」への参加、授業補助、子ども達との触れ合いを通して秋田県の教育を知ります。

目的 学力日本一を生む秋田県の学校教育を理解し、大学での学修に役立てると共に教員としての資質を養います。

参加学生 VOICE
秋田県の中でも学力上位にある東成瀬小学校を訪問し、授業参観、授業補助、事務補助、子ども達との遊びなど様々なことを体験させていただきました。東成瀬小学校には児童の能力を伸ばすための工夫が随所にあり、先生方の情熱や児童に対する想いを強く感じることができました。今後の大学での学びや教員採用試験に役立てたいと思います。
(教育学部3年 上村奈央)



教育学部

フィールドワーク名
埼玉からやってきた
お祭り屋さん (藤田ゼミ3年生)



場所 茨城県つくば市立桜南児童館

参加人数 14名

内容 児童館のホールに5つの遊びブースを設置し、保育園児から小学生までの子ども達を対象にお祭りを実施します。

目的 学生企画の子ども祭りを実施することにより、計画・準備の意味や重要性、及び子どもとのかかわりを学びます。

参加学生 VOICE
遊びに来てくれた子ども達は年齢がさまざまですが計画通りにいかないことがありましたが、柔軟に対応することができました。事前準備での計画を丁寧にする事の大切さや、各年齢に合わせたかかわり方も学ぶことができました。お手伝いしてくれた子ども達、そして職員の方のご協力もあり、充実した楽しい時間を過ごすことができました。今回の貴重な経験を通して学んだことを実習や次の学びにつなげていきたいと思っています。
(教育学部3年 竹内和)



人文学部

フィールドワーク名
表現文化入門
(編集表現)



場所 株式会社 宣伝会議 本社

参加人数 60名

内容 株式会社 宣伝会議のオフィスを見学し、若手社員の方々による働き方についてのQ&Aセッションに参加しました。

目的 雑誌制作の現場を直接見学することで身近なロールモデルを感じ、「表現の現場で働くこと」についてのイメージを具体化すること。

参加学生 VOICE

株式会社 宣伝会議は、書籍・雑誌の出版やイベント・教育事業を展開する出版社です。本社のオフィス内は座席自由のフリーアドレス制で、カラフルな椅子が並びお洒落な雰囲気だったので、『資料が積み上がっていて、そこで徹夜したりするもの』というイメージと全く違って驚きました。オフィス内見学の後は宣伝会議の若手社員の方がQ&Aセッションを開いてくださいました。「文芸サークルで編集担当をしていますが、書き手とどう向き合えばいいか悩んでいます」「自分のやりたくないテーマの仕事のときは、どうモチベーションを上げるのですか」など、皆が気になっている質問に、丁寧に答えてくれました。将来の仕事について、イメージが深まったように感じます。



人文学部

フィールドワーク名
歴史調査実習 I



場所 丸の内オフィス街

参加人数 24名

内容 丸の内オフィス街にて日本工業倶楽部会館、明治生命館、第一生命館を訪問し、戦前～戦後の史料に触れます。

目的 戦前～戦後の史料を残す丸の内の歴史的空間を探索し、歴史的感覚を養います。

参加学生 VOICE

歴史学科では、板橋区内の郷土資料館や公文書館、あるいは近隣の川越市立博物館などを訪問し、現在にも残る歴史の痕跡を調査しています。今回訪れた日本工業倶楽部会館は、戦前から日本経済を牽引してきた実業家の集う組織、経団連や経済同友会の産みの親とも言うべき日本工業倶楽部が置かれている建物。この調査部には、近代日本の経営史に関わる貴重な史料が残されています。明治生命館は、日本の敗戦後、米極東空軍司令部が置かれた場所で、戦後の日本の占領政策の方針を検討する対日理事会が実施されました。第一生命館はマッカーサー元帥の執務室が置かれた場所です。近現代史の教科書の中の世界が、現在にも繋がっていることを実感しました。



看護栄養学部

実習名
栄養教諭の教育実習



場所 千葉市立寒川小学校

参加人数 2名

内容 栄養教諭は給食の管理運営と食に関する指導の二つの仕事があります。1週間の実習期間の中では、学級に配属され、授業を参観したり、児童と触れ合います。児童を理解したうえで授業案を作成し、精錬授業を行います。

目的 栄養教諭資格取得のために食に関する指導の実践について小学校又は中学校において指導することを目的としています。

経営学部

フィールドワーク名
経営学の「フィールド・ワーク」



場所 石坂産業株式会社 (埼玉県入間郡三芳町)

参加人数 5名

内容 今夏「カンプリア宮殿」でも紹介された業界最先端の地元「リサイクル産業」で、企画打ち合わせや見学ツアーに参加し、お手伝いしながら、何故今この会社が注目されるのか?を考えます。

目的 質的研究法としてのフィールドワークの手法を学びながら地域の企業活動を調査研究してみよう。

参加学生 VOICE

私達はフィールドワークを通して、企業の特徴や大切にしている事、業界での他社との差の付け方などを実際に会社に訪問し学んでいます。今回、石坂産業株式会社さんで学んでいますが、ポスタリティーや地域との協力、自然を大切にすることで他との差を狙っていると伺いました。会社を訪れて分かる自然やポスタリティーなど、多くの事を身をもって経験させて頂いています! (経営学部3年 石坂汐音)



経営学部

フィールドワーク名
企業経営研究 II
広告コース



場所 埼玉キャンパス、ADK本社 (虎ノ門ヒルズ内)

参加人数 15名

内容 日本の大手広告会社アサツー・デイ・ケイに所属するプロの広告ディレクターの方から課題を頂き、その課題解決策について学生達が考え、成果を提案しました。

目的 広告会社の抱えている課題に対して、自らの力でデータを収集しながらチームで内容を議論・解釈し解決策を提示すること。

参加学生 VOICE

私達は広告会社に対する解決策を、絵コンテを使いながらプレゼン・提案しました。現場の第一線で活躍するプロの方に私の描いた絵コンテが褒められて、心から嬉しかったです。私はこの授業を通して今まで以上に広告に興味を持つと共に、その仕事内容や求められていることなど自分が知りたかったことの多くを理解することができました。(経営学部3年 今井梨絵)



経営学部

フィールドワーク名
観光経営学入門
川越視察



場所 埼玉県川越市

参加人数 93名

内容 事前学習として、川越市の観光資源や観光客数・観光客の実態を学ぶ。視察の際には10名前後のグループに分かれ、適宜、観光関係者にヒアリングを行います。

目的 「観光経営学入門」の学習テーマの事例として、観光地「川越」を視察し、その魅力や課題を確認します。

参加学生 VOICE

川越市の近くに住んでいるので、視察エリアには何度か行ったことがありましたが、「観光地」としては見えていませんでした。しかし、視察中にお店の方のお話を聞くことで、川越が素敵な観光地であることに気づきました。また、若年層観光客を増やすために、観光協会や神社などが様々なイベントを実施していることも、初めて知りました。観光地の魅力高め、観光客を増やすためには、地元の方の努力の積み重ねが大切だということを知ることができ、とても有意義な視察でした。
(経営学部1年 最上綾乃)



淑徳人 No. 213

KAWAGUCHI Ryoko

川口 涼子さん

独立行政法人 国立病院機構 千葉東病院 勤務

国立病院機構・千葉東病院に勤務する川口さん。1年目は重症心身障害児(者)病棟、2年目は外科を中心とした混合病棟。現在は小児科を筆頭とする病棟に配属となり、それぞれ分野が異なる病棟でのスピード感の違いに戸惑いながらも、看護師の仕事にやりがいを感じている日々だと言います。



千葉県生まれ。2013年看護学部(現:看護栄養学部)看護学科卒業。現職は4年目。大学入学後は社会福祉関連の講義を積極的に取得。看護の実習で、リハビリ中の患者さんを受け持つことが多くあり、患者さんと共に一つの目標に向かって頑張っていくやりがいを感じたことも、千葉東病院で働く決め手となった。

小学生の卒業アルバムに記した将来の夢は「看護師になりたい」。その夢は決してブレることなく、いまや夢を実現し、現在は千葉東病院の看護師として、勤続4年目を迎えました。

患者さんとの関わりを大事に看護を続けたい

看護師を志して入学した淑徳大学在学中に看護師国家試験の勉強をする上で役立ったことが、淑徳大学の学生で構成される国家試験対策委員の存在です。川口さん自身も一人の委員として、

勤務地の千葉東病院で、当初配属された病棟は重症心身障害児(者)病棟でした。食事や着替の手伝いなど、日常生活の援助が主な業務で、生来の世話好きで性格を生かせる仕事に従事してきました。川口さんの

分のことを覚えてくれていてと感じられるときがあるので、それがうれしいです」と川口さんは笑顔を見せてくれました。

「その後、外科へ異動する際、誰よりもその患者さんのお母さんが異動を残念がってくれました。『高校を卒業する姿を見てほしかった。新しいところでも頑張る』と感謝の言葉を聞いた時は、胸がいっぱいになりました。」

しっかりと看護師としての重責を果たしながらも、あの時の気持ちを胸に、患者さんとの関わり方も大事にできる看護師になりたいと、川口さんは自身の将来像を話してくれました。

—社会で学ぶ、社会とともに学ぶ—

社会の人々がなにを求めているか？現場で学び行動してきた学祖。

ともいきのこころ



浄土宗第一教校在学の頃

本校の各学部では積極的にフィールドワークや実習が行われている。その基盤にあるのは、学祖・長谷川良先生が提唱・実践してきた「実学」である。それは単に実用的な学問ということではなく、実践を通して吟味・体得され、真に自己の人格に実りをもたらす学問を意味する。この理念はもろろん一朝一夕に築かれたものではない。今回は学祖の少年期・青年期に焦点をあて、その活動の様子や本質を探ってみたい。

学校づくりの原点となった「真壁の寺子屋」

学祖が旧制中学時代の話である。茨城県真壁郡真壁町(現・桜川市真壁町)の得生寺に養子として入籍し少年時代を過ごしていたが、高等小学校卒業後に15歳で上京。浄土宗第一教校現・芝中・高専

学校に入学する。このとき、学祖は休みに帰省するごとに、養父が開いていた寺子屋の代範(代理の師範)を務め、実際に子どもたちを教えていた。いわばいまの教育ボランティアを、明治時代後半、高校生のような年齢で行っていたのである。正規の授業だけでなく、時々子どもたちを大勢引き連れて、町内を練り歩き、いまでいう街頭演説をしてみたり、夜には子どもたちに提燈を持たせて行列させ布教活動をした。学祖の演説と子どもたちのパフォーマンスがとても好評だったという。

寺、小石川の伝通院の3ヶ所で、米の大安売りをすることができた。この間、学祖は中心的メンバーとして活躍し、寝食を忘れての活動だったという。人々に歓喜をもたせて迎えられたことはもちろん、東京市長(現・東京都知事)が大いに感心し、盛大な慰労会を開いてくれた。今日という学生ボランティアのような活動が世間の注目を集めたことは特筆すべきことである。



宗教大学在学の頃。兄・長谷川善治とともに(向かって右)

Photo × Photo



看護学科3年生の領域実習時のグループ写真(左上より2番目が川口さん)



軟式野球サークル「CORNERS」の同期の写真(左下より1番目が川口さん)



福祉系ビジネスインターシップIの皆さん

- 久保 輝佳 積田 暁生
- 佐久間 真珠 山本 翔太郎
- 浅野 千尋 神原 みなみ
- 山元 千紘 高橋 大成

第13回を数える「淑徳調査団」は、淑徳大学にまつわるギモンや面白そうなことをリサーチしていく企画です。

コンビニが日本に誕生して45年ほど。東日本大震災以降、「生活インフラ」としての機能への注目が高まっています。

また、「家から近い」「こじんまりして買い物がしやすい」「自分の分だけ、少しだけほしい」などの理由から、近年では高齢者の利用も伸びているそうです。そこで、「コンビニの現状とこれからのコンビニに必要とされている役割について、千葉キャンパス周辺のコンビニから徹底リサーチ!!」

今回のテーマ

「とても身近な存在“コンビニ”で“ホスピタリティ”を徹底リサーチ!

Data 1

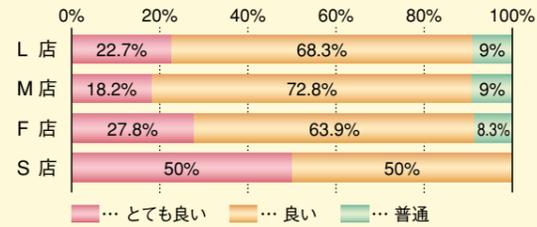
ホスピタリティ調査

私たちは大学近くの4つのコンビニにおいて、「商品の取りやすさ」「レジ対応・挨拶」「清潔さ」の観点から、コンビニのホスピタリティをミステリーショッパー調査しました。

◆調査概要

- 調査 福祉系ビジネスインターシップI履修学生
- 調査方法 千葉市中央区の大学近辺のコンビニを対象に、各自の空き時間を使いマニュアルに従い4段階で評価調査
- 調査期間 5月13日～5月27日

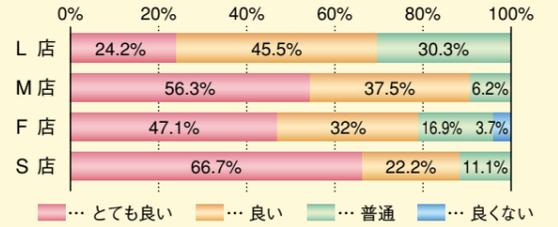
Question 1 品物の取りやすさ(配置)はどうでしたか?



【調査学生のつぶやき】

- 幼児や高齢者が多く求めるものは取りやすい位置のほうが良い(S店)
- 下の段の重いものは取りにくい(S店は店員がすぐに気づき、対応していた)
- 陳列棚の間隔が狭い(車いすやベビーカーを利用している場合は通りづらい)(L店)

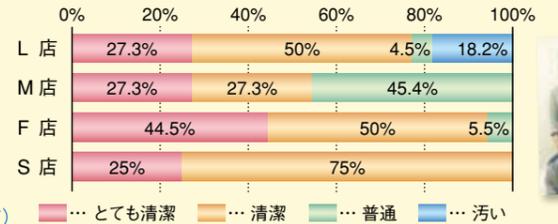
Question 2 レジ対応・挨拶(声掛け)はどうでしたか?



【調査学生のつぶやき】

- 待たせないような配慮があった(F店)
- 困っているような人に積極的に声掛けをしていた(M店)
- レジ対応は相手を見ながら笑顔で対応する人とそうでない人と時間帯によって異なった(L店)

Question 3 店内は清潔でしたか?



【調査学生のつぶやき】

- 店内はとてもきれいだ、タ方はレジ回りの汚れが気になる(L店)
- 入口付近に喫煙場所があると入りづらい(M店)
- コンビニのトイレが最近とてもきれいで利用しやすい(F店)

Data 2

これからのコンビニの役割に関する調査

地域の方へアンケートにご協力いただき、コンビニに求める機能を調査しました。

◆調査概要

- 調査 戸塚ゼミ・松山ゼミ3年生
- 調査対象 千葉市中央区南町共栄会および南町三丁目町の750世帯
- 調査方法 アンケート調査 有効数回答数: 400
- 調査期間 5月13日～6月30日

地域の方が望んでいるコンビニの機能

複数回答の結果

- デリバリー機能 (80人) お水や米など、重たいものを運んでほしい
- イートイン & 一休み機能 (70人) 買ったものをその場で食べられるイートイン機能(会話もできる)
- 独居高齢者の見守り & 手伝い (40人) 電球を購入したら、付け替えてくれる
- 入口のドアや飲み物のドアが重い (20人)
- 一人分のおかずはとても便利。もっと増やしてほしい。(30人)

【実施した学生の意見・感想】

- コンビニにも、知らなかった機能がたくさんあることに驚いた。また、コンビニの本部の方々の話を聞き、10年後を見据えていると取り組んでいることがわかった。
- 私たちが福祉的視点から、コンビニの良いところと不便なところを改めて考えることができた。そして、自分たちの視点以外の視点からもコンビニについて考える機会となった。
- 今まで何気なく利用していたコンビニだが、目的を明確に持ち、自ら足を運び現場を観察することの大切さを学ぶことができた。

● 調査メンバー

- 篠田 七海
- 伊藤 葉花
- 眞分 彩奈
- 風戸 翔嘉
- 山中 優太

松山先生ゼミ (3年生)

- 吉田 航大
- 植草 潤
- 工藤 信輝
- 遠藤 彩恵
- 長倉 由依
- 北島 優祐
- 鈴木 健也
- 江尻 真梨菜
- 長妻 菜々
- 牛腸 日向子

戸塚先生ゼミ (3年生)

- 篠田 七海
- 伊藤 葉花
- 眞分 彩奈
- 風戸 翔嘉
- 山中 優太

淑徳調査団 メンバー募集!

探してほしいテーマや調査に参加してくれる団員を募集しています。(ゼミ・サークル可)

reply@soc.shukutoku.ac.jp



発表時の風景

*この調査の結果は、ご協力いただいたコンビニ会社の本部およびアンケートにご協力いただいた地域自治会長に報告プレゼンを実施しました。

CHIBA CAMPUS



- 代表者 片井野 穂花 (教育福祉学科3年)
- 創部 2010年
- 部員数 42名(ろう学生6名 健聴学生36名)
- 活動日 毎週 火曜日・水曜日・木曜日
- 活動場所 部室(11号館3階16号室)

私たちデファイは、ろう学生(聴覚障がい学生)が中心となり、日常会話の中で手話を覚えています。今年は1年生が大幅に増え、より楽しく元気に活動しています!春と夏の合宿をはじめ、ろう学生と健聴学生と一緒に過ごす中で、手話だけでなくお互いの文化(生活)の違いも学んでいます。「聴覚障がいについて知りたい・話してみたい」という人も大歓迎!サークル内のほとんどのメンバーが大学から手話を始め、覚えた手話を使ってろう学生とコミュニケーションをとっています。会話やゲームの中で手話を覚えられるので、自分のペースで楽しく覚えられますよ!現在は龍澤祭に向け、手話を使った映画撮影に取り組んでいます。今年のテーマは「ろうの日常」。大学生活や恋愛事情など、ろう者の視点で描いています。ろうの人も健聴の人も楽しめる作品を目指しているのでぜひ見に来てください!入部希望、体験希望の方も大歓迎!気軽に部室まで遊びに来てください!

手話サークル Deafi (デファイ)

CHIBA 2ND CAMPUS



- 代表者 小田 葵 (看護学科2年)
- 創部 2012年 ● 部員数 40名
- 活動日 平日10:00~19:00、土曜日午前中
- 活動場所 千葉県立こども病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター

私たちshukutokidsは障がいや病気をもつこどもに対するボランティアを中心に行っているサークルです。千葉県立こども病院や千葉リハビリテーションセンターで、主にこどもと遊んだり、宿題を一緒にやったりしています。また、託児預かりの依頼があればサークル内で呼びかけ、ボランティアに向かいます。

相手が病気や障がいを持っているため、初めてボランティアを行うときはとても緊張しましたが、学生の私たちよりも、病院で会うお子さんたちのほうが心が元気で、一生懸命に前を向いているということに気づかされました。ボランティアを終える時には、私たちが元気をもらって帰ってくるのがとても多いです。shukutokidsはやりがいのあるボランティアサークルだと思っています。

shukutokids (シュクトキッズ)

SAITAMA CAMPUS



- 代表者 関根 圭一朗 (経営学科2年)
- 創部 2000年 ● 部員数 11名
- 活動日 相談カウンター当番:週1日、その他:不定期
- 活動場所 図書館1階相談カウンター、図書館作業室

私たちは、みずほ台図書館学生アドバイザーです。現在1、2年生11名のメンバーが、学生の立場で図書館利用の支援を行っています。学生アドバイザーは相談カウンターで、図書館利用に関する相談を受けます。利用者からの質問に答えるため、私たちは図書館について、様々なことを学びました。図書館を利用する際に困ったことがあれば気軽に相談下さい。他にも、大型書店で学生選書コーナーの本を選び、選んだ本にポップを付けて展示したり、図書館広報紙LALAの執筆・編集、ガイダンスの補助、イベントの運営など、活動は多岐に渡ります。現在は学園祭に向けて、図書館を舞台にした謎解きアドベンチャー企画(フジくんクエスト)の準備をしています。謎を解きながら、図書館に親しめる内容です。皆さんぜひ、参加してください!

みずほ台図書館 学生アドバイザー

TOKYO CAMPUS



- 代表者 高田 泰周 (歴史学科2年)
- 創部 2015年 ● 部員数 25名(男子15名、女子10名)
- 活動日 月曜日
- 活動場所 3号館アリーナ

こんにちは、バスケットボールサークルです。私たちは初心者から上級者まで男女25名で毎週月曜日に活動し、主に「フェアプレー」をモットーにしています。基本的に試合形式ですが、あまり硬くなく面白おかしくプレイしています。活動中は上下関係がほぼなくなるくらい楽しく賑やかで、スポーツマンシップも忘れずに活動しています。またサークルを通じて、同じ学部の先輩・後輩・同級生と交流を深めることができるので、知人を増やしたり様々な情報を共有するきっかけにもなります。ちょっとしたイベントも行ったりするので、バスケットボールが好きな方や少しでも興味がある方はぜひ見学も兼ねて参加してみてください!

バスケットボールサークル

教室 (36)・入間市補充授業 (8)・入間市サマーチャレンジキャンプ (11)
※台風のため中止。数字は参加学生の延べ人数。

TOKYO Campus

学生が記者となって、映画監督に共同取材!

6月10日、「表現文化研究VI (創作表現)」(担当:杉原麻美准教授)では、映画監督の松井久子監督をゲストにお迎えしたインタビュー演習が行われました。松井監督は雑誌ライター、俳優のマネージメント、テレビ番組のプロデューサーを経て、50歳の時の初監督作品「ユキエ」で複数の映画賞を受賞、最新作「不思議なクニの憲法」に至るまで一貫して表現にたずさわる仕事をされています。監督からどんな話を引き出すか、学生は事前調査をもとに質問項目を練って取材に臨み、各自の想定媒体に応じた原稿にまとめました。授業期間中には、監督のインタビュー記事がちょうど新聞に掲載され、これが格好の教材となって新聞記者の構成力を学ぶ機会にもなりました。



教員採用試験対策講座 開講

8月2日~3日、人文学部教職希望者対象に「教員採用試験対策講座」が行われました。当日は夏休み中にも関わらず、教員含め35名の学生が講座に参加。教育原理や教育法規等、教員としての知識が問われる「教職教養」の分野について学びました。

受講した学生たちの表情は、皆真剣そのものです。「教員になりたい」という思いが、講座に参加することでより一層高まったのではないかと思います。

歴史学科で教職課程を担当している土井進教授も、学生と一緒に講義を聴講。後期からこの講座を引き継ぎ、教員を目指す学生対象に自主勉強会を開催予定とのことです。志の高い学生の未来を、東京キャンパスはこれからも全力で応援していきます!



強のみならず、ホテルの三大機能、宿泊・料飲・宴会の全てを見て回り、さらにそれらの仕事場も見てくるなど、密度の濃い学外授業でした。

サマーナイトフェスタ開催

7月11日、毎年恒例の学生主催「サマーナイトフェスタ」を埼玉キャンパス1-211教室で開催しました。サークルやグループなど13団体がアカペラ、バンド演奏、ダンスなどを2時間以上にわたって披露しました。3部構成のプログラムで、学生たちは日ごろの練習の成果を発揮。今回は例年以上の約340人が来場し、開演時間が近づくにつれて会場のムードも次第に盛り上がり、立ち見が出るほどの大盛況でした。次回は、12月に「サイレントナイトコンサート」を開催予定です。



夏季淑徳教師養成塾を実施

淑徳教師養成塾は「学校等の教育活動ボランティアや学校・教育センターなど

所沢市立教育センター研修会「ワークショップで学ぶ図画工作」

の研究発表会や研修会に参加することにより、実践的指導力の育成を図る」ことを目的に初等教育コースの学生が自主的に参加するものです。夏季には周辺市町よりボランティア活動の要請があり、毎年、延べ約100名の学生が様々な活動に参加しています。本年は次のような活動に参加しました。こども大学ふじみ(8)・こどもスポーツ大学ふじみ(4)・こども大学みよし(8)・朝霞市彩夏ちゃんのサマースクール(14)・川越市立教育センター研修会(9)・所沢市立教育センター研修会(9)・※所沢市高齢者大学世代間交流(15)・富士見



入間市サマーチャレンジキャンプのカラー作り 市夏休み宿題

ホームカミングデー (卒業生の集い) 開催

7月23日、淑徳大学と淑徳大学同窓会との共催で、卒業生のアフターケアを目的とした



「ホームカミングデー (卒業生の集い)」が開催され、看護学科6期生、栄養学科1期生を中心に50名余りの卒業生が来校しました。

オープニングとして磯岡副学長、第1期卒業生である山田同窓会副会長、同窓会事務局長澤様のあいさつの後、ひとづくり工房esucoの代表である浦山絵里先生をお招きして、「対話とアートのおしゃべりワークショップ」をテーマに参加型ワークショップを行いました。いくつかのグループに分かれ、「学びあいの場づくり」を体験し、最後に一人ひとりが書いた絵を繋げて大きな1枚のアートが完成され、参加者全員から歓声が上がりました。

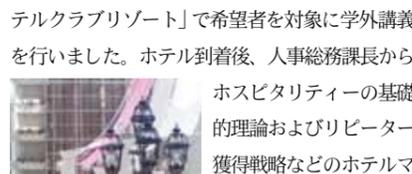
その後、学生ホールで行われた情報交換会(懇親会)にも多くの卒業生が参加し、互いに社会人として歩み始めたこの3ヵ月余りの様子を報告し合い、情報の交換を行いました。



SAITAMA Campus

ディズニーリゾートのオフィシャルホテルで学外講義

経営学部では、7月4日、ディズニーリゾートのオフィシャルホテル「東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート」で希望者を対象に学外講義を行いました。ホテル到着後、人事総務課長から



ホスピタリティーの基礎的理論およびピーター獲得戦略などのホテルマネジメントについて講義を受け、続いて、ホテル内ウェディング施設やパーティ会場、レストラン、客室、そして、大宴会場での着席900人の宴会セッティングの現場を順次視察しました。

宴会場では、普段目には見えない裏舞台のバックヤードなど、ホテルビジネスの生の現場を見ることが出来ました。ホテルマネジメントの勉

詩や南光坊天海の格言などを引用しながら、老いの利点は「自由を得られること」と強調。経験上、「出しゃばりでキザでオシャレで能天気」が長生きの秘訣だと語りました。

千葉ロッテマリーンズ「淑徳大学スペシャルナイター」プロジェクト

8月3日、「淑徳大学スペシャルナイター」が開催され、コミュニティ政策学部生が中心のプロジェクト学生がよしもとお笑いライブ等を主催しました。国歌斉唱をコーラス



サークル ハルミド♪が務め、C.D.Cのダンス披露など学生の活躍が光る一日となりました。詳しくは「コミュニティ政策学部ブログ」をご覧ください。本プロジェクトは千葉市役所や市内高校生と



一緒に活動するなど外部との連携で学生の実践力を育成しています。

CHIBA2nd Campus

Café de Shukutoku 給食経営管理論実習

給食経営管理論実習はお客様への食事提供を通して給食の運営・



経営管理を学ぶ授業です。7月6日の実習は、七夕にちなんだ行事食を提供しました。実習食堂には笹の葉を飾り、雰囲気作りにも力を入れ、行事食を盛り上げました。献立は、穴子ちらし、豚肉のから揚げ、お吸い物、七夕ゼリーです。そうめんやオクラを使って天の川に見立てたお吸い物、星形パイナップルを飾った二層の涼やかなクラッシュゼリーなど、盛り付けにも工夫を凝らし、通常の実習メニューより、見た目は華やかで、味もご好評をいただけ、学生の心に残る実習となりました。



きました。

2011年の東日本大震災の半年後からこの活動は続き、元気で若さあふれる学生たちが演じるパネルシアターで、笑顔と元気をお届けしたいとの目的で行っています。今回も子どもたちはもとより、保育所の先生や保護者の方々、子育て支援センターの先生方まで、「楽しかった!」「感動した!」とお声を多くいただきました。学生は交流や被災地視察を通して多くのことを感じ学んできました。

CHIBA Campus

七夕祭り開催

7月2日、千葉市中央区白旗地区で七夕祭りを開催。今年度は、コミュニティ研究Ⅱの授業の一環として、コミュニティ政策学部



1年生全員が、お祭りの準備や企画運営に参画し、地域づくりを実践的に学びました。また、千葉市中央区役所の地域活性化支援事業から助成金を得ている「白旗活性化プロジェクト」のメンバーは、学生のリーダー役として参加し、



白旗町内会、白旗商店街の皆さんと協働しながら、企画を運営しました。

坂巻名誉教授「傘寿(さんじゅ) 記念特別講演会」開催

7月31日、淑徳大学千葉キャンパスにて、坂巻名誉教授の「傘寿を祝う会」が開催されました。当日は、老いをテーマにした坂巻名誉教授の記念講演に続き、懇親会ではゼミ1期生をはじめ歴代の教え子たちが

各界での活躍ぶりを報告しました。

坂巻名誉教授は「81歳まで生きるとは思っていませんでした」と率直に述べ、サミュエル・ウルマン「青春の



ALL Campus

ビジティングリサーチャー来日

アジア国際社会福祉研究所(ARIISW)は、博士論文書き上げ準備のある方のために、ビジティングリサーチャー論博プログラム(奨学金付き)を今年10月から始めます。アジア地域において社会福祉の大学教員養成ニーズは非常に高く、情報公開以来多数の問い合わせと応募がありました。栄えある第1回ビジティングリサーチャーに選ばれたのは、タイ出身でタマサート大学社会政策学部准教授ワンワディ・ボンボクシン女史です。彼女の研究テーマは「移住労働者の福祉指標策定」、2年間で淑徳大学博士号取得を目指します。



右から2番目がワンワディ・ボンボクシン女史

東日本大震災被災地支援プログラム

第6回 学習支援ボランティアの実施

東日本大震災後継続的に実施している学習支援ボランティアが石巻市立大須小・中学校

で7月31日~8月5日の5泊6日の行程で実施されました。参加学生は教育学部、国際コミュニケーション学部、人文学部から4名が参加。

子どもたちの学びを応援するとともに、学生の参加理由は様々ですが被災地における復興の現状を目の当たりにして、参加した学生は大きく成長したように感じます。

東日本大震災被災地支援プログラム

第7回 パネルシアターキャラバン

9月8日~10日、学生8名(総合福祉学部1名・

教育学部7名)と教員1名が宮城県石巻市の保育所2カ所と山元町のこどもセンターでパネルシアター公演を行い、楽しく交流して



学園祭&ホームカミングデーのお知らせ

埼玉 千葉 東京

埼玉 campus

第21回 淑徳祭

テーマ

Next Stage ～一催学祭やりますか!?～
いっさいがっさい

日付

10月22日(土)・23日(日)

ホームカミングデー

10月22日(土) 15:30～17:00

〈内容〉サークルによる発表、過去のアルバム・写真展示、お楽しみ抽選会、教職員との懇談



千葉 campus

祝50回

第50回 龍澤祭

テーマ

新化 -50年の歩みをこの先の未来へ-

日付

11月5日(土)・6日(日)

ホームカミングデー

11月5日(土) 13:00～

15号館2階 201教室

〈内容〉オープニングセレモニー、講演会、懇親会、地方物産展

〈実行委員長より〉

「青春今や 我れにあり 大悲の力 身にたぎる」

淑徳大学に在籍していた者なら、知らぬはずのないこの言葉。大学歌の一節です。この場に大学歌の一節を引用した理由、それは正に今日の学生に重なったからです。今年は特別な年、第50回目の龍澤祭が開催されます。若さ溢れる学生が、来場者に思いを届けるその姿をご覧ください。私たちのつくる龍澤祭が、久しぶりに大学へ訪れる一歩になれば幸いです。実行委員会一同お待ちしております。(実行委員長 松下 幸平)



東京 campus

第53回 淑徳祭

—つきかけ祭—

テーマ

騒げ祭りだ 秋の宴だ

日付

11月19日(土)・20日(日)



知識モリモリ×健康モリモリ

—今回は千葉 大成 先生に伺いました。vol.14



痩せるサプリメントってあるの?!

健康寿命を延ばすために

偏食に注意して適度な運動を心がけましょう

痩せたい!最近太った!などスタイルを気にして簡単に瘦せられる食品を!と思った方も少なくないはず。残念ながら、『痩せられる魔法のサプリ』といったものはありません。生活習慣を見直していくしかないのです。ダイエット時に、摂取エネルギーだけに注目していると、炭水化物(糖質)に気を取られ、たんぱく質、脂質が不足する可能性があります。また、摂取量を減らすことで、体脂肪だけでなく筋肉も壊して使うことになります。その結果、筋肉量は減り、生きていくために最低限必要なエネルギーである基礎代謝量が下がり、消費エネルギーも低下することで、さらに痩せにくい体になると言われています。基礎代謝量が低下した体で再び普段と同じような食事をすれば、それまで以上に体脂肪を蓄積する可能性が高いです。したがって、食べたい欲求を我慢して、太りやすい体質になるので、摂取エネルギーカットは悪循環となります。

一方、摂取量を減らすことで糖質、脂質代謝に必要なミネラルやビタミン不足により、骨量低下も懸念され、骨折リスクを上昇させる可能性がありますので、偏食せず運動する習慣が健康寿命の延伸に重要です。

編集後記

22年ほど前より地域の合唱団に参加したり、ある音楽サークルに所属したりしながら歌うことを楽しんでいます。

歌の実力は、楽譜もきちんと読めませんし、正直なところ下手の部類に入ります。一緒に参加している妻からは、もっとしっかり勉強するように怒られています。演奏会では、音楽指導者のきちんとした指導もあり、何とか無事に終えることができます。

この活動を通じて、多くのことを学びました。特に、演奏会では、出演者ばかりでなく、運営スタッフなどいわゆる裏方の人などみなさんの力が結集して一つの演奏会が出来ているということを感じることができたことでした。

私の地域では、今年の12月には、ベートーヴェンの第九の演奏会があり、来年3月には、オペラのガラコンサートが予定されています。みんなと一緒に演奏会を終えた時の感動が忘れられず、この二つの演奏会には参加するつもりです。(斉藤)

「淑徳大学広報誌」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております! reply@soc.shukutoku.ac.jp

千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部
大学院 総合福祉研究科
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大巖寺町 200
TEL: 043-265-7331

千葉第二キャンパス

看護栄養学部 大学院 看護学研究科
〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町 673
TEL: 043-305-1881

埼玉キャンパス

国際コミュニケーション学部
経営学部 教育学部
〒354-8510
埼玉県入間郡三芳町藤久保 1150-1
TEL: 049-274-1511

東京キャンパス

人文学部 淑徳大学短期大学部
〒174-0063
東京都板橋区前野町 6-36-4
TEL: 03-3966-7631

池袋サテライト・キャンパス

〒171-0022
東京都豊島区南池袋 1-26-9
第2MYTビル 7F
TEL: 03-5979-7061